



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月2日

上場会社名 株式会社 フジインコーポレーテッド 上場取引所 東 名
 コード番号 5384 URL <http://www.fujimiinc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 鈴木 彰 TEL 052-503-8181
 四半期報告書提出予定日 2018年11月7日 配当支払開始予定日 2018年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	19,163	10.0	2,813	22.9	3,056	35.8	2,339	42.1
2018年3月期第2四半期	17,417	7.2	2,289	9.0	2,250	3.6	1,647	△3.7

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 2,736百万円 (42.0%) 2018年3月期第2四半期 1,926百万円 (270.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	94.92	—
2018年3月期第2四半期	66.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	57,237	49,633	86.7	2,013.67
2018年3月期	55,439	47,848	86.3	1,941.26

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 49,633百万円 2018年3月期 47,848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	25.00	—	38.00	63.00
2019年3月期	—	40.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	45.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	4.8	5,300	8.8	5,600	18.4	4,200	39.5	170.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	28,699,500株	2018年3月期	28,699,500株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	4,051,361株	2018年3月期	4,051,320株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	24,648,175株	2018年3月期2Q	24,648,333株

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度 株式給付信託（BBT）及び株式給付信託（J-E SOP）を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、世界各国において政治・政策面での先行き不透明感はあるものの、米国では堅調に、日本・欧州では緩やかに景気回復が持続しました。一方で、中国では債務削減政策や貿易摩擦の影響による投資の縮小もあり景気減速の兆候がみられました。また、世界半導体市場は、メモリデバイスの価格下落やメモリデバイスメーカーの設備投資の先送りがみられたものの、ロジックデバイス、メモリデバイスともに総じて堅調な需要に支えられ、好調に推移しました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高19,163百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益2,813百万円（前年同期比22.9%増）、経常利益3,056百万円（前年同期比35.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,339百万円（前年同期比42.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、シリコンウェハー向け及び最先端メモリデバイス向けCMP製品の販売が好調に推移したことにより、売上高は10,997百万円（前年同期比19.9%増）、セグメント利益（営業利益）は製品構成の良化により2,684百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

北米につきましては、売上高は3,081百万円（前年同期比5.3%増）となったものの、現行世代向け製品の販売が増加したことにより、セグメント利益（営業利益）は349百万円（前年同期比30.4%減）となりました。

アジアにつきましては、最先端ロジックデバイス向けCMP製品の販売は堅調に推移しましたが、ハードディスク向け製品の販売が低調となったことから、売上高は4,269百万円（前年同期比6.5%減）となりました。一方、セグメント利益（営業利益）は製品構成の良化により718百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

欧州につきましては、シリコンウェハー向け製品の販売が好調に推移したことにより、売上高は814百万円（前年同期比8.4%増）、セグメント利益（営業利益）は109百万円（前年同期比44.2%増）となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハー向け製品につきましては、半導体市場の好調に加え、当社製品の採用が拡大したことから、ラッピング材の売上高は2,176百万円（前年同期比25.4%増）、ポリシング材の売上高は4,301百万円（前年同期比26.8%増）となりました。

CMP向け製品につきましては、半導体市場の好調を背景に、ロジック、メモリともに最先端デバイス向け製品需要が増加したことにより、売上高は7,690百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、SSD（ソリッドステート・ドライブ）への置き換えによる市場の縮小及び顧客の生産プロセスの変更の影響により、売上高は1,276百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、売上高は2,212百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、1,797百万円増加し、57,237百万円となりました。これは、流動資産のその他が234百万円減少したものの、現金及び預金が697百万円、受取手形及び売掛金が658百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、12百万円増加し、7,604百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が260百万円、流動負債のその他が168百万円それぞれ減少したものの、未払法人税等が217百万円、株式給付引当金が130百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、1,784百万円増加し、49,633百万円となりました。これは、利益剰余金が1,388百万円、為替換算調整勘定が377百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、半導体市場の好調を背景に、売上高及び利益が予想を上回る結果となりました。最近の業績動向を踏まえ、2018年5月11日に公表した2019年3月期の通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日付で別途開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 追加情報

（「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等の適用）

「税効果会計に係る会計基準」の一部改正（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,929	25,627
受取手形及び売掛金	8,010	8,669
有価証券	500	500
商品及び製品	3,244	3,422
仕掛品	801	926
原材料及び貯蔵品	1,748	2,136
その他	772	537
貸倒引当金	△23	△28
流動資産合計	39,983	41,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,822	7,740
その他（純額）	5,527	5,553
有形固定資産合計	13,349	13,294
無形固定資産	479	444
投資その他の資産		
投資有価証券	744	753
繰延税金資産	749	828
その他	141	134
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	1,626	1,706
固定資産合計	15,456	15,445
資産合計	55,439	57,237

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,269	3,008
未払法人税等	429	647
賞与引当金	1,115	1,104
役員賞与引当金	—	55
その他	1,952	1,784
流動負債合計	6,767	6,601
固定負債		
繰延税金負債	—	0
退職給付に係る負債	651	677
株式給付引当金	153	284
その他	18	40
固定負債合計	823	1,002
負債合計	7,591	7,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,570	5,570
利益剰余金	42,718	44,107
自己株式	△5,641	△5,641
株主資本合計	47,401	48,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	202	205
為替換算調整勘定	336	714
退職給付に係る調整累計額	△92	△77
その他の包括利益累計額合計	446	843
純資産合計	47,848	49,633
負債純資産合計	55,439	57,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	17,417	19,163
売上原価	10,384	11,255
売上総利益	7,033	7,908
販売費及び一般管理費	4,743	5,095
営業利益	2,289	2,813
営業外収益		
受取利息	20	56
為替差益	—	140
その他	42	56
営業外収益合計	62	253
営業外費用		
為替差損	95	—
固定資産除却損	4	6
その他	1	3
営業外費用合計	101	9
経常利益	2,250	3,056
税金等調整前四半期純利益	2,250	3,056
法人税、住民税及び事業税	610	797
法人税等調整額	△7	△79
法人税等合計	603	717
四半期純利益	1,647	2,339
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,647	2,339

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
四半期純利益	1,647	2,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	3
為替換算調整勘定	253	377
退職給付に係る調整額	25	15
その他の包括利益合計	279	396
四半期包括利益	1,926	2,736
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,926	2,736

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,250	3,056
減価償却費	665	684
長期前払費用償却額	1	1
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2	4
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	41	55
賞与引当金の増減額（△は減少）	△91	△17
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	64	48
株式給付引当金の増減額（△は減少）	—	130
受取利息	△20	△56
為替差損益（△は益）	△2	△25
固定資産除売却損益（△は益）	4	4
売上債権の増減額（△は増加）	△615	△581
仕入債務の増減額（△は減少）	236	△330
たな卸資産の増減額（△は増加）	△109	△594
未払金の増減額（△は減少）	6	69
その他	△163	309
小計	2,272	2,759
利息及び配当金の受取額	19	48
法人税等の支払額	△1,021	△682
法人税等の還付額	33	44
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,303	2,170
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△557	△3,633
定期預金の払戻による収入	—	2,931
投資有価証券の売却による収入	26	—
有形固定資産の取得による支出	△791	△586
無形固定資産の取得による支出	△39	△101
その他	△6	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,368	△1,387
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△690	△951
自己株式の取得による支出	—	△0
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△691	△952
現金及び現金同等物に係る換算差額	170	152
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△585	△17
現金及び現金同等物の期首残高	24,832	23,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,246	23,319

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	9,170	2,927	4,568	751	17,417	—	17,417
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,585	476	130	—	4,192	△4,192	—
計	12,755	3,404	4,698	751	21,610	△4,192	17,417
セグメント利益	2,099	502	541	76	3,219	△929	2,289

（注）1. セグメント利益の調整額△929百万円は、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△861百万円及び棚卸資産の調整額△70百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	10,997	3,081	4,269	814	19,163	—	19,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,540	521	119	—	4,181	△4,181	—
計	14,537	3,603	4,388	814	23,344	△4,181	19,163
セグメント利益	2,684	349	718	109	3,861	△1,048	2,813

（注）1. セグメント利益の調整額△1,048百万円は、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△925百万円及び棚卸資産の調整額△125百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。